

宮城県救急医療情報システムに関するアンケート

1 アンケート概要

(1) 目的

宮城県救急医療情報システムは、運用開始以降、機能を追加しながら運用してきたが、大幅な見直しを行ってきていなかった。そこで、機能全体の見直しを検討するため、システムの利用登録機関を対象に、現在の利用状況や見直し後の機能等に関するアンケート調査を行ったもの。

(参考資料1) 宮城県救急医療情報システムについて

(参考資料2) 宮城県救急医療情報システムに関するアンケート（医療機関用）

(2) 対象機関

153 医療機関 11 消防本部

(3) 実施期間

令和元年7月19日から8月30日まで

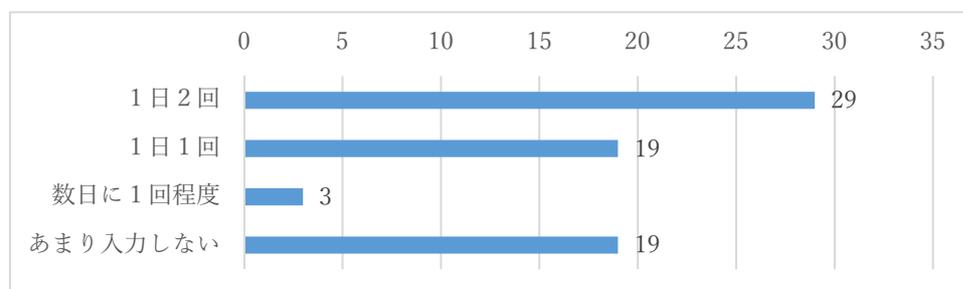
(4) 回答率

53.7% (88機関)

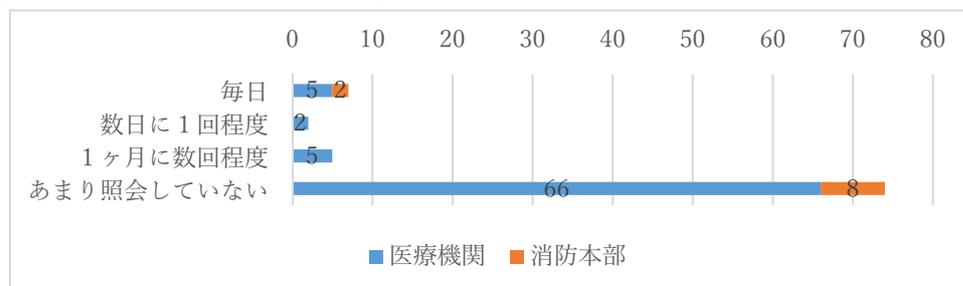
2 アンケート結果

(1) 救急応需情報提供機能

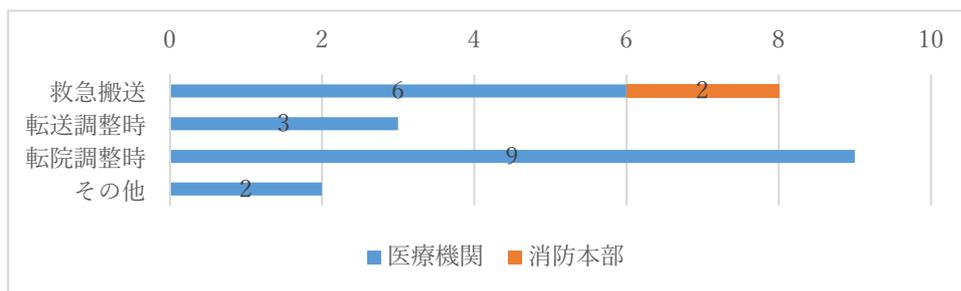
Q1 入力頻度はどのぐらいか。



Q2 照会頻度はどのぐらいか。

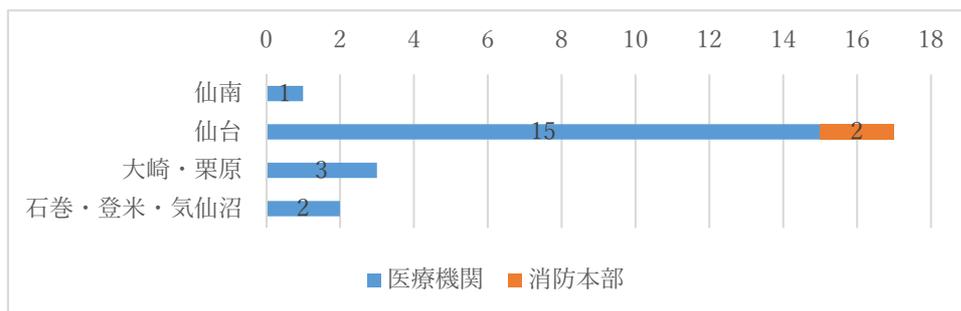


Q 2① Q 2で照会すると答えた機関に質問。どのようなときに利用するのか(複数回答可/回答機関数19)。

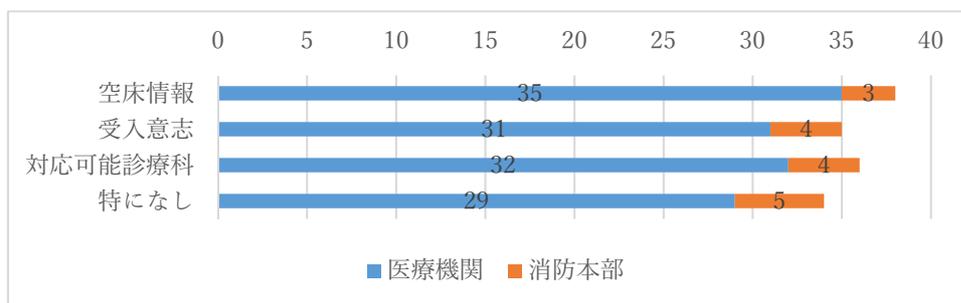


その他回答
入力時の確認

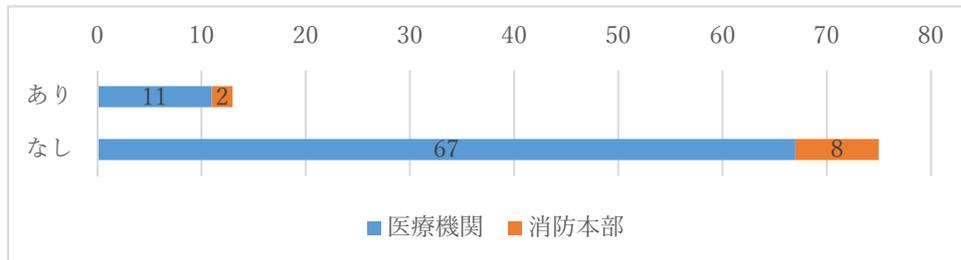
Q 2② Q 2で照会すると答えた機関に質問。どの医療圏を検索するか。



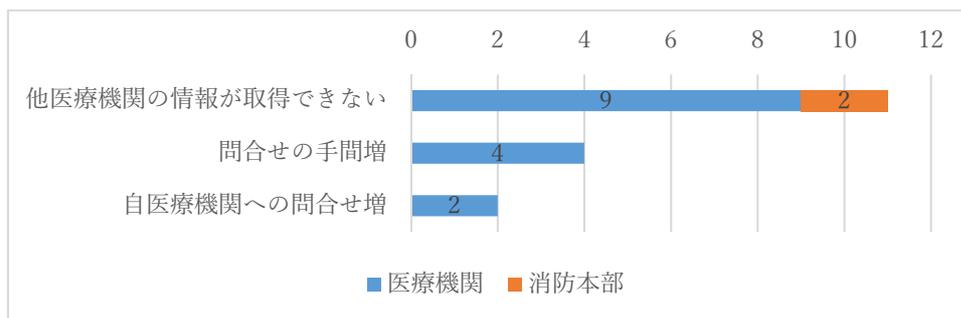
Q 3 現在の機能のうち残すべきと考える機能は何か。(複数回答可/回答機関数88)



Q 4 機能を廃止した場合、業務上の支障が生じることはあるか。



Q5 Q4で「あり」と答えた機関に質問。「あり」の理由は何か。



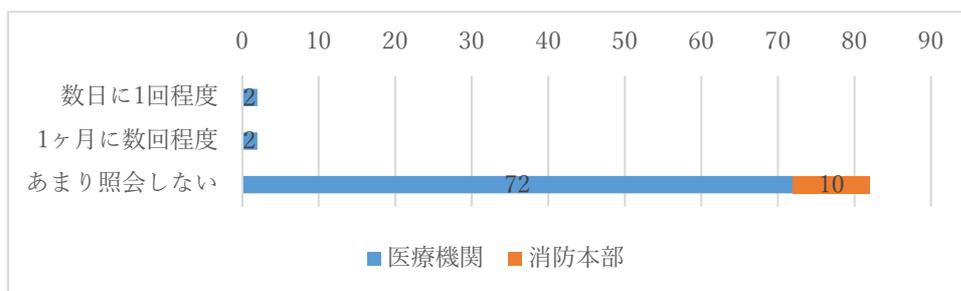
Q6 救急応需情報提供機能に追加すべきと考える機能, 改善すべき機能は。

(医) リアルタイムで相手病院及び医院が見てもらえないので、電話・FAX連絡になっている。

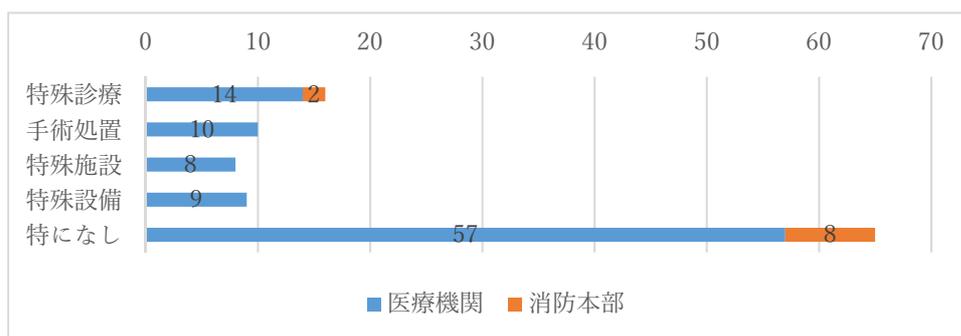
(消) リアルタイムな情報の更新が必要と考える。

(2) 特殊診療情報照会機能

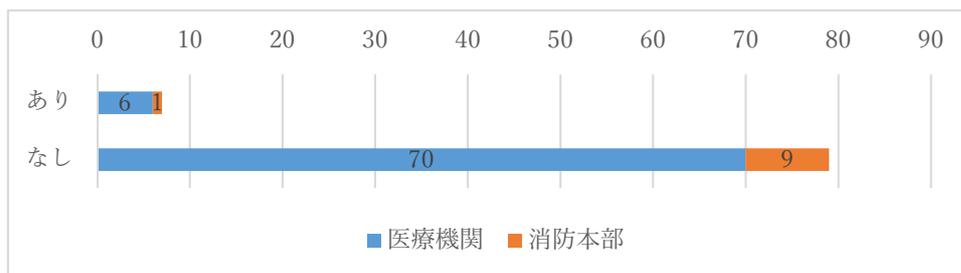
Q7 照会頻度はどのぐらいか。



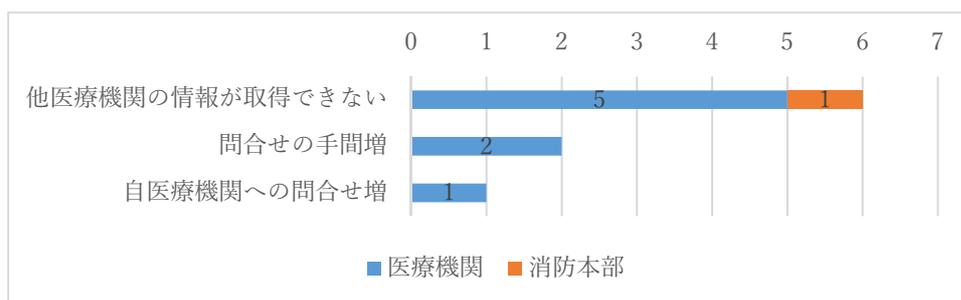
Q8 現在掲載している情報のうち, 残すべきと考える情報は何か (複数回答可/回答機関数83)。



Q 9 機能を廃止した場合、業務上の支障が生じることはあるか。



Q 10 Q 9で「あり」と答えた機関に質問。「あり」の理由は何か。

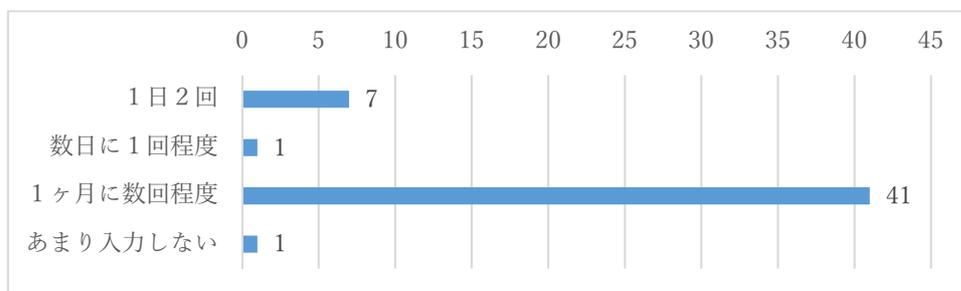


Q 11 特殊診療情報に追加すべき機能やカテゴリー，改善すべき機能は。

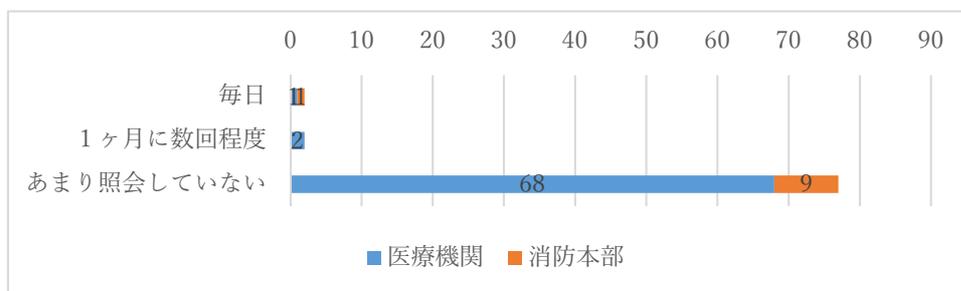
(消) 対応施設一覧のみ閲覧できるようになっているため対応可能等の情報があれば効果的と考える。

(3) 後方病床照会機能

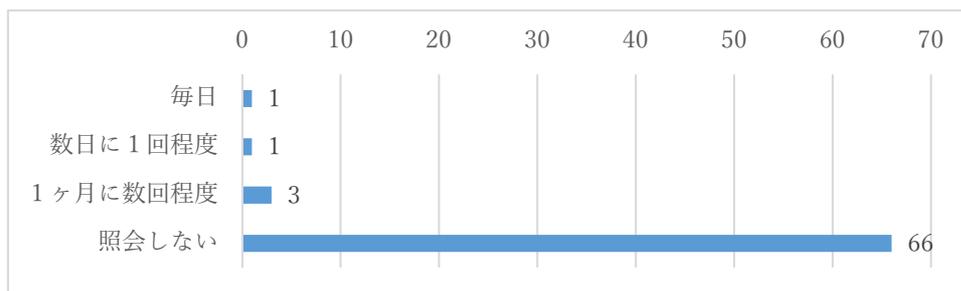
Q 12 入力頻度はどのぐらいか。



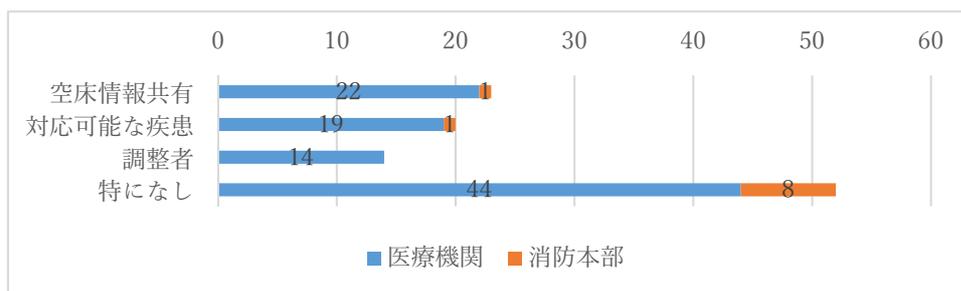
Q 13 照会頻度はどのぐらいか。



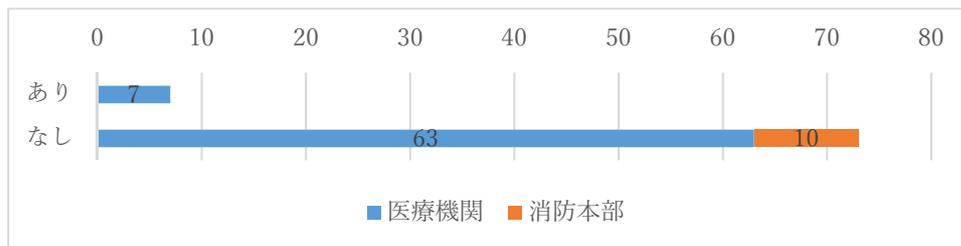
Q 1 4 入退院調整者一覧の閲覧頻度はどのぐらいか。



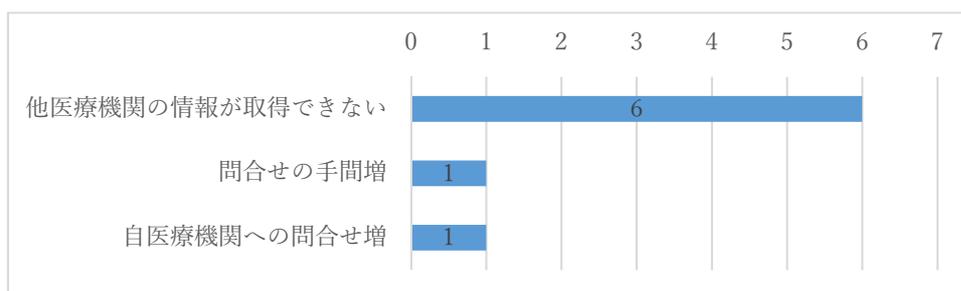
Q 1 5 現在の機能のうち残すべきと考える機能は何か。(複数回答可/回答機関数82)



Q 1 6 機能を廃止した場合、業務上の支障が生じることはあるか。



Q 1 7 Q 1 6で「あり」と答えた機関に質問。「あり」の理由は何か。

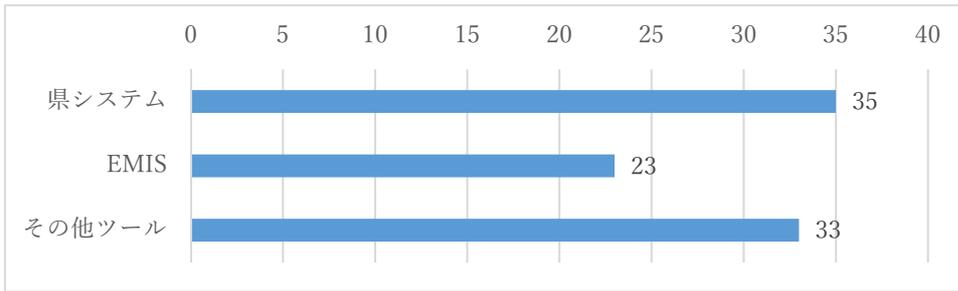


Q 1 8 後方病床情報に追加すべき機能, 改善すべき機能は。

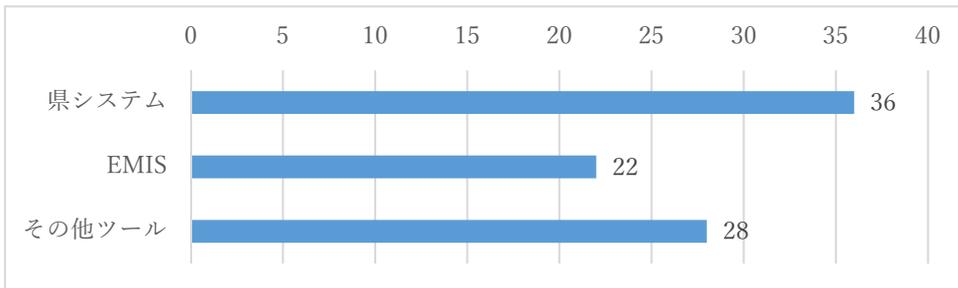
(医) 機能を追加しても、医療機関とのやりとりは必要な為、現行のままでかまいません。

(4) 災害時医療情報提供機能

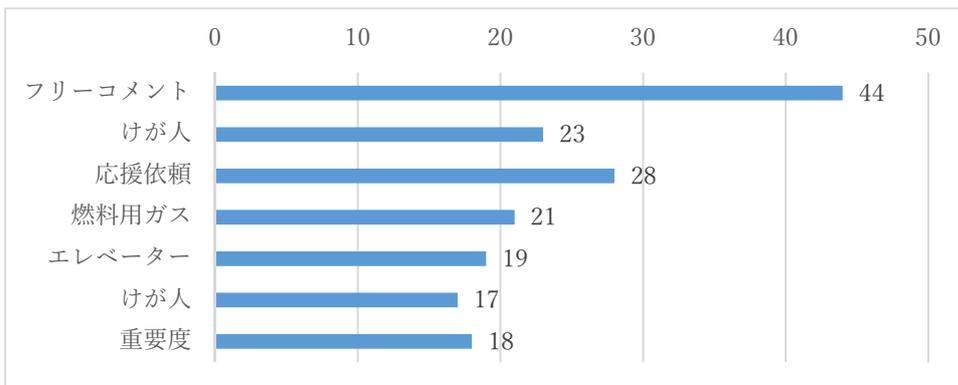
Q 1 9 訓練や災害発生時に自院情報を入力・報告する基本ツールは何か。



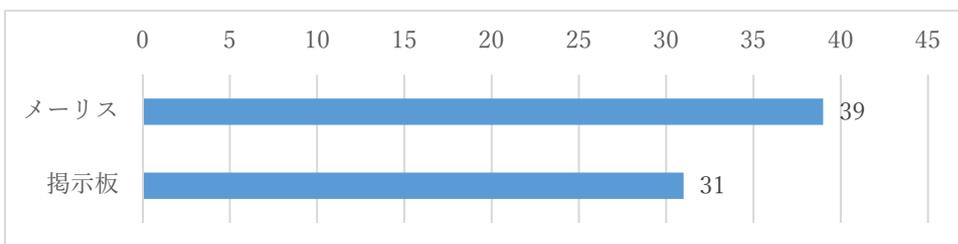
Q 2 0 訓練や災害発生時に自院以外の医療機関情報を閲覧・共有する基本ツールは何か。



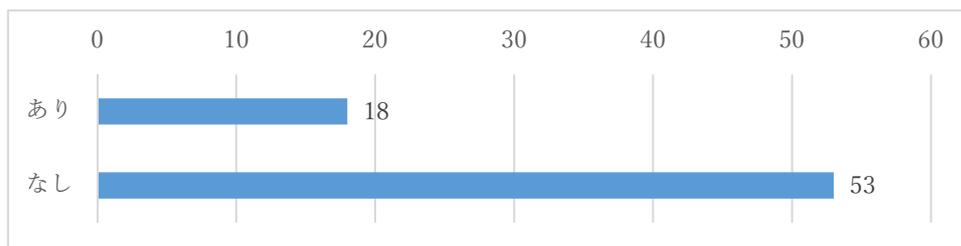
Q 2 1 宮城県救急医療情報システムにはEMISにはない独自の入力項目があるが、残すべきと考える入力項目はあるか。(複数回答可/回答機関数57)



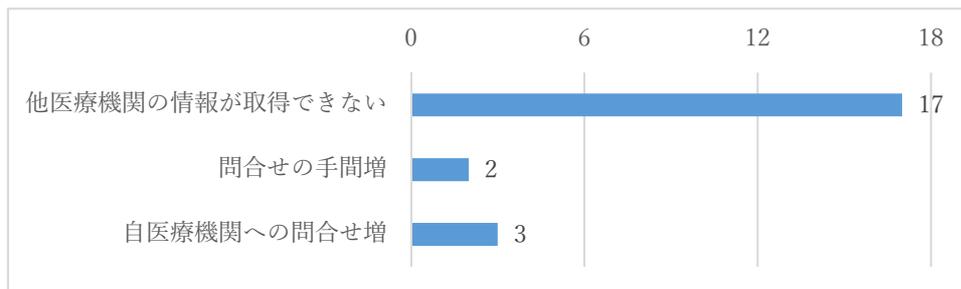
Q 2 2 宮城県救急医療情報システムにはEMISにはない独自の機能があるが、残すべきと考える機能はあるか。(複数回答可/回答機関数52)



Q 2 3 Q 2 1 の入力項目及びQ 2 2 の機能を廃止した場合、業務上の支障が生じることはあるか。



Q 2 4 Q 2 3 で「あり」と答えた機関に質問。「あり」の理由は何か。



Q 2 5 災害時医療情報に追加すべき機能，改善すべき機能は。

(医) テレビ会議システム

(医) 宮城県救急医療情報システムは廃止して EMIS に統合が望ましいと考えます。

3 アンケート結果まとめ

(1) 救急応需情報提供機能

- ・照会頻度については、「あまり照会しない」と答えた機関が多かった。
- ・残すべき機能としては「空床情報」(38/88)、「受入意思」(35/88)、「対応可能診療科」(36/88)、「特になし」(34/88)と、ほぼ同数であった。
- ・「機能を廃止した場合、業務上の支障が生じることはあるか。」の問いには、75/88が「なし」と回答。

(2) 特殊診療情報照会機能

- ・照会頻度については、「あまり照会しない」と答えた機関が多かった。
- ・残すべき機能として「特になし」(65/83)が一番多かった。
- ・「機能を廃止した場合、業務上の支障が生じることはあるか。」の問いには、79/86が「なし」と回答。

(3) 後方病床照会機能

- ・照会頻度及び入退院調整者一覧については、「あまり照会しない」と答えた機関が多かった。
- ・残すべき機能として「特になし」(52/82)が一番多かった。
- ・「機能を廃止した場合、業務上の支障が生じることはあるか。」の問いには、73/80が「なし」と回答。

(4) 災害時医療情報提供機能

- ・訓練時や災害発生時に使用するツールとして、「県システム」が一番多かった。
- ・残すべきと考える機能は、「フリーコメント」(44/57)が一番多かった。
- ・「EMISにはない独自機能を廃止した場合、業務上の支障が生じることはあるか。」の問いには、53/71が「なし」と回答。